

日本に、
京都があつて
よかつた。



伊藤若冲「雪中雄鶏図」細見美術館蔵

伊藤若冲生誕300年

江戸時代中期、京都で活躍した絵師・伊藤若冲。
京都・錦市場で青物問屋を営んでいた30代半ば頃の若冲初期の作品で、
鶏の綿密な描写や奇怪な形の雪竹などに「奇想の画家」としての
独創的な世界観を見出すことができる。

平成28年、伊藤若冲生誕300年を記念し、
京都市内でも若冲ゆかりの多彩な事業を展開していきます。



日本の財産である京都を守り、育て、未来へ…

私たちは、「国家戦略としての京都創生」を提案します。

京都市 京都創生推進フォーラム

京都創生

検索